

教科名	音楽	科目名	保育音楽	学年	3年	単位数	2
準教科書		歌唱教材伴奏法		副教材			

1 担当者からのメッセージ

保育音楽は、将来保育関係の仕事に就きたいと考えている人を主として、楽譜を読んで（音符を読んだり楽譜に書かれた様々な記号を読み取れるようにする）、ピアノが弾けるようになりたいと思う人のための授業です。ピアノを習ったことがない人も、1から教えますので心配はいりません。ただし、ピアノが弾けるようになるには、指をたくさん動かして1本1本の指を独立させること、左右で違う手の動きをすること、また歌いながらピアノを弾くなど難しいことにもチャレンジしていかなければならないので、集中力・忍耐力が必要です。

2 学習の到達目標

(実技)

- ・楽譜の読み方を理解して演奏したり、正しい姿勢や指使いで演奏したりすることができる。(知識・技能)
- ・息継ぎのタイミングや歌のメロディーのまとまりを考えながら演奏できる。(思考・判断・表現)
- ・意欲的に練習に取り組み、課題曲を仕上げるができる。(主体的に学習する態度)

(音楽理論)

- ・楽譜に書いてある音符や記号の読みやはたらきについて理解できる。(知識・技術)
- ・楽譜に書かれていることを、演奏表現に結び付けて考えることができる。(思考・判断・表現)
- ・演奏表現に生かすために、意欲的に楽譜を理解しようと取り組むことができる。(主体的に学習する態度)

3 学習計画

		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	簡単な童謡の演奏 楽譜の仕組み	・楽譜の基本的な読み方を理解し、ピアノで演奏する。 ・メロディーのまとまりを、楽譜から読み取って演奏する。 ・「ちょうちょう」の演奏を完成させ、発表する。
	前期期末	＃や＼のついた曲の演奏 表現に関わる音楽用語	・＃や＼の意味を理解し、ピアノで演奏する。 ・強弱記号や速度記号の意味を理解し、演奏につなげる。 ・両手に動きのある曲に取り組み、発表する。
後期	後期中間	童謡の弾き歌い 複雑な楽譜の仕組み	・歌いながらピアノの演奏をする。 ・細かいリズムや音の表現に関する用語を理解し、演奏につなげる。 ・弾き歌いを完成させ、発表する。
	学年末	季節の曲 音楽理論のまとめ	・卒業シーズンにふさわしい曲を演奏する。 ・楽譜の読み方や用語について、総まとめをする。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽譜を正しく読み取り、演奏をすることができる。	楽譜から、それぞれの曲の特徴をつかみ、子どもたちと一緒に歌うことを想定した表現ができる。	意欲的に演奏技術向上のために練習に取り組んだり、楽譜を理解するため理論の学習に取り組むことができる。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

普段の授業での練習の取り組みかた、音楽理論で使用する学習プリントの取り組み方、実技発表会での演奏、授業内で実施する筆記テスト等を以下の割合で総合的に評価します。

知識・技能…30% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…40%